

メキシコ研修レポート Noviembre de 2017

鈴木 萌

死者の日 El día de muertos

死者の日とは先スペイン期から受け継がれる先住民の風習と、スペイン侵略後のカトリック信仰が混じり合った独特の祭礼で、死者が家族や友人のもとに帰ってくると言い伝えられています。ラテンアメリカ全土で見受けられる風習ですが、メキシコでは特に盛大に祝われ、2003 年にはユネスコの世界無形文化遺産に登録されました。



死者の日である 11 月 1 日、2 日が近づいてくると、至る所に死者を迎えるためのオフレンダ（祭壇）が作られ、‘死者をオフレンダまで運んでくれる’という言い伝えがあるマリーゴールドの花で町中が埋め尽くされます。

私は‘死’と聞くと何かと暗いイメージで捉えがちだったのですが、メキシコの人々が歌ったり踊ったりと楽し気な雰囲気の中で死者を迎える死者の日を体験し、日本と異なるメキシコの死生観や多様な死の捉え方を学ぶことができました。

ソチミルコ Xochimilco

先日、友人達と一緒にメキシコシティ郊外にあるソチミルコに遊びに行きました。

ソチミルコは先スペイン期に現在のメキシコシティが湖上都市だったころの面影が残る場所です。ちなみに、地名の‘ソチミルコ’はアステカの言葉であるナワトル語で「花畑のあるところ」を意味します。



1987年には周辺の歴史地区とともにユネスコの世界文化遺産に登録されました。

ソチミルコで有名なものの1つがトラヒネラと呼ばれる小舟です。かつてはメキシコ盆地内の重要な輸送・交通手段として使用されていたトラヒネラですが、現在では観光資源として用いられており、ソチミルコではこのトラヒネラに乗り水路を巡ることができます。



水路では風景をだけでなく、マリアッチという楽団を乗せた小船やタコス売る船が水路を行き交い、たくさんの人々が船上で歌ったり踊ったりしてフィエスタを楽しんでいる様子も楽しむことができました。機会があれば、また行ってみたいと思います。